



四国西予ジオパーク
SHIKOKU SEIYO GEOPARK

西予市議会だより

かけはし



令和3年 第3回 定例会

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして

特集

三瓶町4Hクラブ × 議会



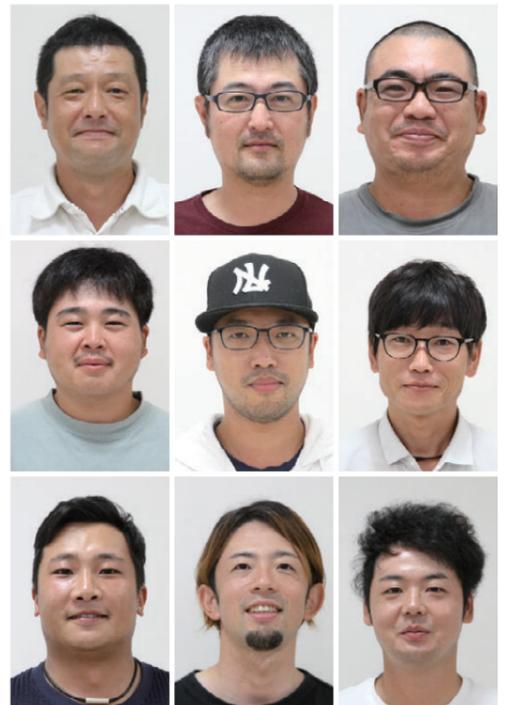
定例会の報告
政務活動費報告

特集

三瓶町4H クラブ × 議会

市民の皆さんのご意見を議会活動に反映させるために「市民との意見交換会」を開催し、三瓶町4Hクラブの柑橘農家の皆さんにお話を聞きました。

8月19日
西予市三瓶支所（三瓶町）にて



どんな活動をされていますか

- 三瓶町内の農業・畜産を担う若手後継者24名で活動を行っています。毎年テーマを決定し、自分たちの園地を利用した実地検証や、県外への視察や講習を通して、農業に関する知識や技術の獲得を行っています。
- 果実の日焼けを防止するために散布する薬剤の濃度を変えるなどの実験や日常活用している草刈り機やチェーンソーなどの農器具の正しい点検方法を学ぶため、安全講習をしています。
- 耕作者が高齢のために管理できなくなった荒廃園地の伐採を行い、害虫の発生を抑えるための活動や、奥地の海

のかーにはるや銀ちゃんの仮想大賞といったイベントが行われた際には、スタッフとして協力しています。

柑橘農家になってよかったことは

- 自然と関わる時間が増えました。前の会社では、会社内にあることが多かったのですが、違う経験が出来るのは楽しいことです。いい経験をさせてもらっています。
- 子どもの頃から農業には関心がありました。以前、松山でサラリーマンをしていて、農業関係の仕事でこの三瓶地区に来る機会があり、農家さんからいろいろと農業の話が聞きました。それ

どんなことをやっていきたいですか

- 将来的には法人化をして、収穫したものを都市部に出すことにより収入が増えれば、草刈りや収穫をしてくれたアルバイトに分配するような、雇用を生むやり方もあるのかなと思っています。蔵貫地区で、今年中に法人を立ち上げる予定です。
- 私たちの園地は水源が乏しいところで、南予用水を利用してあります。甘平の栽培において裂果を防ぐために、県が点滴灌水を利用した栽培技術を進めているので取り組んでみたい。

市や議会に対して伝えたいこと

- 農家向けの結婚プロジェクトを開催してほしいです。
- 収穫期には人手不足となるので、アルバイトの方が宿泊するような施設の整備をしてほしいです。
- 三瓶地域では、今後5年10年したら作付面積は半分になると思う。後継者をもっと増やしていかないと産地自体が保たなくなる感じを受けます。そして鳥獣害や耕作放棄園の伐採など負担が押し寄せてくる。産地を守るため、新規参入しやすい環境を作ってもらいたいです。



（後列左から） 芋瀬謙二郎さん、石川武巳さん、有馬宗一郎さん
（中列左から） 宮本大輝さん、木下徳之さん、山本龍太さん、井上伸也さん、
（前列左から） 菊池弘展さん、堀内和弘さん、上杉豪さん、井上清悟さん、岡本武さん

令和2年度一般会計歳入決算	
地方交付税	121億7524万円
国庫支出金	89億7880万円
市債	36億7145万円
市税	31億9836万円
県支出金	26億8625万円
繰入金	21億2284万円
繰越金	18億0863万円
諸収入	4億2162万円
使用料及び手数料	2億9620万円
寄附金	2億9730万円
分担金及び負担金	1億2741万円
財産収入	7096万円
地方消費税交付金	8億0323万円
地方譲与税	3億1271万円
地方特例交付金	2576万円
環境性能割交付金	1785万円
株式等譲渡所得割交付金	1600万円
法人事業税交付金	1267万円
配当割交付金	1183万円
利子割交付金	451万円
交通安全対策特別交付金	442万円
計	370億6404万円

令和2年度一般会計歳出決算	
民生費	74億1993万円
総務費	68億3620万円
公債費	41億1849万円
教育費	32億3041万円
土木費	26億4986万円
農林水産業費	25億9528万円
衛生費	22億3343万円
災害復旧費	18億9872万円
消防費	18億4588万円
諸支出金	13億7577万円
商工費	12億3120万円
議会費	1億7721万円
労働費	1376万円
計	356億2614万円



一般会計決算

歳入総額 370億6403万7871円
 歳出総額 356億2613万8774円

特別会計決算

(歳入) 125億3697万円
 (歳出) 123億6535万円

企業会計決算

	(収入)	(支出)
(収益的収支)	59億6,989万円	59億7,737万円
(資本的収支)	14億2,486万円	17億3,614万円

注) 金額は、四捨五入のため、一部端数調整を行う場合があります。

令和3年
第3回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会期 8月31日～10月8日
 会議期間 39日間

第3回定例会の議案は

- 令和3年度補正予算 8件
- 令和2年度決算認定 11件
- 報告 13件
- 人権擁護委員の推薦 5件
- 条例制定 1件
- 条例改正 3件
- 財産の取得 1件
- 指定管理者の指定 1件
- 過疎計画の策定 1件
- 議員提出議案 2件

全ての議案と結果は、P7をご覧ください。

議案ピックアップ



〈認定第1号 西予市一般会計歳入歳出決算の認定について〉

Pick up

過去最大となる令和2年度一般会計歳入歳出決算を認定しました

特別定額給付金を主とする、新型コロナウイルス感染症対策に関する歳入歳出の影響により、過去最大の決算となった。

歳入の32・8%は、地方交付税が占めている。その内、普通交付税について、令和2年度から合併による優遇措置が終了し一本算定となったが、地域社会再生事業費の創設、公債費に係る基準財政需要額の増等により、前年度より増額した。今後も、横ばいから微増で推移すると見込まれている。

しかしながら、自主財源に乏しく、財政力指数は0・25と大変弱いが、これまで以上に行政改革に取り組み、持続可能なまちづくりのため、財政基盤の確立と健全経営に取り組む必要がある。

● 総務常任委員会



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

6件の議案を審査

- Q** 消防本部署庁舎建設事業用地の取得金額の決定方法は
- A** 土地鑑定士が出した候補地の1㎡あたりの単価鑑定評価価格を買収面積に換算したものである。
- Q** 新消防本部署庁舎周辺住民に対する環境整備は
- A** 今のところ未定であるが、今後協議検討を行い、できる範囲で取り組む。
- Q** 卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業における駅前工事の遅れへの対応は
- A** 工事に関する責任は本工事の発注者である(株)西予まちづくりサービスにあるが、同社とのPFI事業契約をしている市としては、問題や課題などが判明次第、定例会だけでなくその都度、直接相談や指導も行なっ

ている。それでも対応が不十分な点があり、今後は近隣や駅利用者への周知を十分に行うよう、細かく指導をしていきたい。

Q 三瓶小学校屋内運動場外壁タイル改修工事の工法は

A 透明度の高い特殊な樹脂でタイル面を被覆することで、タイルの剥離と防水効果を兼ね備え、外壁工事で課題とされる景観維持を解決する工バーガードSG工法にて行う。

Q 聴覚障がいのある児童に対するデジタル補聴器の申請方法は

A 機器の購入に関する申請については、保護者から学校へ、学校から教育委員会へ上がってくる。

8件の議案を審査

- Q** 西予市災害弔慰金等支給審査委員会の構成は
- A** 専門的見地から審査を行う医師や弁護士等5名で構成される。
- Q** 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業の給付見込み数は
- A** 新規児童手当受給者15名分、新規特別児童扶養手当受給者1名分、高校生を扶養している方40名分、家計急変者132名の合計188名分を見込んで予算計上した。

- Q** システムを改修することにより、マイナポータルを通じてどのような検診情報が閲覧できるようになるか
- A** 胃がんなど国が推奨する5つのがん検診の結果が5年間分閲覧できるようになる。

現在、特定健診の結果や各種医

● 厚生常任委員会



療情報などを閲覧できるようなシステムの構築を国が進めており、マイナポータルを通じて様々な仕組みが構築されることとなるため、順次システム改修をして今後につなげていきたい。

Q 令和3年度にできた愛媛県の新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金と日本財団の新型コロナウイルス感染症対策整備支援事業補助金の使途は

A 人工呼吸器1台、簡易陰圧装置1台パーテーション10台、サーモモニター2台などを整備する。

所管事務調査

卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業における駅前工事を視察

工期の遅れている駅前工事について説明を受け、緑地広場の設計変更、暗渠排水工事や想定していなかった地盤改良工事が発生し工期が伸びている。

今後は工区を5区に分け、順次、駅と周辺施設の利便性を考慮し、工事を進めていきたいとの説明であった。

早期に国道からの進入ができるよう期待したい。



ゆるりあん（宇和町）において、(株)西予まちづくりサービスから駅前工事の説明を受ける

所管事務調査

医療・介護、保育職の人材確保について

医療介護部の市立病院等と福祉事務所の関係課など、計6部門の担当者から現状と課題、その対応策等について7月19日と9月9日に調査を実施した。

その結果、医療・介護職の若手人材や夜勤対応者確保の困難さなどが鮮明となってきた。

次回は、西予市野城総合福祉協会との意見交換会の中で、介護職の実態について調査を進める予定である。

今後も引き続き調査研究に取り組み、より良い提言に繋がるよう努めたい。



西予市民病院からの現状聞き取り

産業建設常任委員会



2件の議案を審査

Q 新型コロナウイルス感染症対策中小企業者等経営安定支援事業のせいよじかん冬ギフト2021の内容は

A お歳暮フェアのカタログに記載した商品を25%割引で提供し、市内物産品の販売促進を図るもので、実施主体である西予市観光物産協会への補助金を計上する。

Q 担い手育成支援事業の新設は愛媛県で担い手の減少や高齢化による産地の供給力低下が心配されるため野菜・花き等産地供給力強化支援事業が新設された。

Q 緑の少年団活動事業の内容は野村町惣川小学校において緑の少年団を新規結成し、市内では合計7団体となった。主な活動は野外活動・緑化活動・奉仕活動・学習活動などである。

Q 注文の受付方法と受付期間は

A 現在はファックスを中心とした注文方法だが、インターネット販売について検討中であり、事業者によって受注方法が異なるため、細かく情報収集して注文が容易になるよう調整する。

受付期間は10月25日から12月24日までで、10月20日付けの広報せいよと一緒にカタログを配布する。

所管事務調査 一次産業振興の可能性

巻頭の特集にもあるように、当委員会では三瓶町4Hクラブと意見交換を行った。柑橘農家の若手後継者から農業のやりがいや課題について学ぶことで、新規就農の方法や課題など、様々な収穫が得られた。

今後も一次産業の可能性や振興について、引き続き調査研究していく予定である。



三瓶町4Hクラブとの意見交換会

一般質問



みなさんの生活にかかわる内容について質問を行います。

一般質問



加藤 美香

入札について

Q 令和2年度の入札件数と平均落札率は

A 件数は、全体で264件、落札率は97.73%である。

平成30年7月豪雨災害により、多くの災害復旧工事を実施する必要があり、入札者が一社の場合でも有効としているため、落札率が高い要因になっているが、今年度には災害復旧工事の発注は概ね完了する見込みである。

小学校の再編について

Q なぜ、今年度に西予市宇和町地域小学校再編検討委員会を設置するのが適当だと判断したのか

A 今後の児童数の推移、複式学級発生の可能性、施設の状態、統合後の皆田小学校の状況、教育環境の変化等を総合的に勘案した結果、現在が協議を行う適切な時期であると判断し、委員会を設置し検討をお願いした。5回程度開催し、年度末に答申をいただく予定である。



宇和町地域小学校再編検討委員会

一般質問



小玉 忠重

平成30年7月豪雨災害の復旧・復興について

Q のむら復興まちづくり計画について

A 住民、行政、大学等が共にアイデアを出し合う「のむら復興まちづくりデザインワークショップ」を開催して話し合いを積み重ね、住民意向を組み取りながら、計画の策定をしてきたところである。

その内容は肱川の右岸側に自然と憩いのエリア、三嶋神社周辺エリア、左岸側に乙亥・まちなかエリア、レクリエーションエリアの4つの空間を整備する計画である。

Q 野村ダムの洪水調節機能の向上に係る計画は進んでいるのか

A 野村ダムの洪水調節機能は国により効果的な進捗管理がされている。利水者の協力により、治水容量350万トンに加え、事前放流により利水容量の一部250万トンを治水に活用することや、治水協定締結により、事前放流量として約160万トンを確保している。

集中豪雨に対し、ダム機能の改修を市としても要望し、国も前向きに検討されており、5月31日には、ダム堰堤の低い位置を削孔し、放流管を設置する野村ダム施設改良工事の概要が発表された。これにより、ダムの洪水調節機能が、平成30年7月豪雨と同じ規模の洪水を安全に流下させるものとなっている。



井関 陽一

スポーツについて

Q 部活動が地域へ移行した場合の受け皿は

A 教育委員会が主体となり、部活動の地域移行を推進していくための協議を開始し、令和5年度からの休日における部活動の段階的な移行に向け、計画的に取り組む。

地域移行時の受け皿としては、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、スポーツ協会、青少年健全育成に係る社会体育の団体、教員OB、地域の個人の方々を想定している。指導者育成については、のむらスポーツクラブへ委託しているジュニアスポーツ活動サポート事業で市民を対象としたコーチング研修を企画し進めている。

第1次産業について

Q 畜産農家減少対策は
A 酪農業は平成28年度の53戸に対して、令和3年度は40戸と、5年間で13戸も減少しており、市としては畜産盤施設再生支援事業を中心に対策を講じている。

「酪農を考える会」が、遊休畜舎等を再活用したり、ス牧場や実習生の受入れを兼ねた研修施設等の計画を検討しており、行政も積極的に参画し、畜産農家への支援を検討する。



高校生とコラボした小学生バレーボール指導 (のむらスポーツクラブ)



酒井 宇之吉

市の情報伝達手段について

Q 防災行政無線が行っている時報のチャイムは

A 時報については多い地区では5回の時報を放送していたが、防災行政無線のデジタル化や市民のライフスタイルの多様化に伴い放送時間に関する問い合わせが寄せられていたため、昨年、各区長にアンケートを実施し、本年4月から試験運用として、正午と午後5時の2回実施している。試験運用開始後も、様々な意見が寄せられており、時報が市民の皆様の生活の一部となつていくことが推察される。

試験運用から6カ月が経過し、再度、各区長等へアンケートを実施し、結果を

財産管理について

もとに、年内には今後の方角性を決定する予定である。

Q 市有財産を売却し、財源とする考えは

A 払下げをする必要性、それを必要とされる方、またセールの方法など、それらを含めて今後検討していく。



屋外拡声子局 (俵津地区丸山公園)



二宮 一朗

えひめ南予ぎざな博について

Q E・B・I・K・Eを活用し、ジオパークや観光推進として、レンタサイクル事業を市内各所に展開してはどう

A E・B・I・K・Eとジオパークの親和性は高いものと想定している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあるが、レンタサイクルの市内各所への設置については、どんぶり館駅前店に設置されているE・B・I・K・Eが今年度と来年度、どの程度利用されるか、実績を見ながら検討を進めていく。

情報発信の方法について

Q テレビのデータ放送から行政情報入手出来る自治体広報情報提供サービスを導入してはどうか



源 正樹

一般質問

行政改革について

Q 愛媛県が幹事団体となつて実施された業務量調査の目的は

A 職員数が減少する中、必要不可欠な行政サービスを維持するため、改善すべき業務を洗い出し、効率化し、企画立案などに集中できる環境づくりを目的に調査を行った。

Q 課題の解決に向け、7月に設立された自治体事務標準化推進協議会において、愛媛県を主体として連携する1道9県で、業務プロセスの効率化、標準化、デジタル技術による業務改革等、実務レベルでの研究を進めている。

Q 愛媛県・市町*DX協働宣言における取り組みは

A

視聴者は自身の知りたい地域の情報を選択し、リアルタイムで情報を得るメリットと、自治体は各種の情報を原則毎日24時間、いつでも入力ができ、リアルタイムで情報発信が可能となる。

手軽な行政情報取得手段として認知され緊急時の確実な情報伝達につなげていくと考えている。費用対効果も含め、県内市町の動向を見ながら導入の検討を行う。



どんぶり館駅前店あおぞらのE-BIKE
まずはお試しください

A

現在、市の特性に合わせた市民サービスの向上を図るため、主に行政のDXの分野について取り組んでいる。特有の様々な課題がある中、デジタル技術により解決、緩和できるものがあると考えている。

自治体情報システムの標準化・共通化や業務のデジタル化などに取り組みが、住民本位の行政を実現することが、誰1人取り残さないDXであるという考えを基に進めていく。



暮らしに役立つDXを

*DX…デジタルトランスフォーメーションの略であり、一般的にデジタル技術による社会経済の変革を意味する。

令和2年度 政務活動費収支報告

市では、地方自治法に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人あたり月額1万円を前払いで交付しています。(会派の場合、所属議員数に応じて交付) 年度末までに支出残高がある場合は返還します。



●主な支出項目の説明

調査研究費	議員(会派)が行う市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員(会派)が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
資料購入費	議員(会派)が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
事務所費	議員(会派)が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

※この他にも、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費、人件費があります。

●収支一覧表

改選前(令和2年4月から令和2年5月分まで)

(単位:円)

NO	会派名または議員名	交付額	支出額	支出額の内訳				返還額
				調査研究費	研修費	資料購入費	事務所費	
1	こころざし(6名)	120,000	0	0	0	0	0	120,000
2	信宮 徹也			申請なし				
3	宇都宮 俊文			申請なし				
4	中村 一雅	20,000	0	0	0	0	0	20,000
5	河野 清一			申請なし				
6	佐藤 恒夫			申請なし				
7	山本 英明	20,000	0	0	0	0	0	20,000
8	竹崎 幸仁	20,000	0	0	0	0	0	20,000
9	小玉 忠重			申請なし				
10	源 正樹	20,000	0	0	0	0	0	20,000
11	菊池 純一	20,000	0	0	0	0	0	20,000
12	兵頭 学			申請なし				
13	宇都宮 明宏			申請なし				
14	森川 一義	20,000	5,935	0	0	5,935	0	14,065
15	藤井 朝廣			申請なし				
16	酒井 宇之吉	20,000	0		0			20,000
	計	260,000	5,935	0	0	5,935	0	254,065

改選後(令和2年6月から令和3年3月分まで)

(単位:円)

NO	議員名	交付額	支出額	支出額の内訳				返還額
				調査研究費	研修費	資料購入費	事務所費	
1	和気 数男	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
2	宇都宮 久見子	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
3	信宮 徹也	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
4	宇都宮 俊文	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
5	加藤 美香	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
6	中村 一雅			申請なし				
7	河野 清一	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
8	佐藤 恒夫	60,000	42,058	0	42,058	0	0	17,942
9	山本 英明			申請なし				
10	竹崎 幸仁	100,000	45,040	560	42,058	0	2,422	54,960
11	小玉 忠重	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
12	源 正樹			申請なし				
13	井関 陽一	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
14	中村 敬治	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
15	二宮 一朗	100,000	42,732	0	42,732	0	0	57,268
16	兵頭 学	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
17	森川 一義	100,000	11,698	0	0	11,698	0	88,302
18	酒井 宇之吉	100,000	42,058	0	42,058	0	0	57,942
	計	1,460,000	604,166	560	589,486	11,698	2,422	855,834

一般質問



宇都宮 久見子

両市立病院について

Q 二次救急医療体制の集約の詳細は

A 公立病院を取り巻く外部環境変化があり、現状のままの両病院を維持することは困難で、適正な病院規模へサイズダウンする変革が必要である。それにより、現在2つの市立病院が隔日交代で実施している二次救急の受け入れ体制が維持できなくなるため、野村病院で対応する平日日中を除いた、夜間365日及び休日の二次救急対応を西予市民病院に集約し、1力所で両病院の医療従事者が協力して、受け入れ体制の維持が必要となり、令和4年4月の実現を目標に進めている。

市立病院の支払いにも

Q キヤッシュレス化の導入が必要ではないか
A 市立病院の支払いは、窓口や口座振替での現金払いのみであり、クレジットカード等のキャッシュレスには対応していない。



二次救急一本化に向けて

Q キヤッシュレス決済については、西予市行政各分野で具体的な導入計画が進んでおり、市立病院もその計画、協議を参考に検討を継続していく。

一般質問



和気 数男

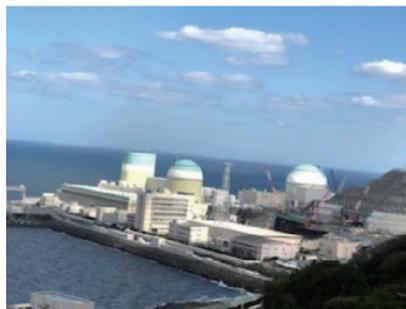
原子力災害時における西予市住民避難行動計画について

Q 原子力災害時における福祉施設入所者・病院入院患者の避難支援は
A 各施設の計画に基づき予め定められた避難所である社会福祉施設へ避難するが、何らかの事情により、選定した避難先施設が使用できない場合は、県対策本部が調整する。
Q 病院と入院患者の避難については、県対策本部が専門家の助言を受け、受け入れ先の選定と受け入れに関する調整を行う。

Q 屋内退避について内閣原子力防災担当と原子力機構の発表では通常の家屋でも3割しか低減効果がないといわれているが、被ばく防止の効果は

A 屋内退避は国の確実性のあるデータをもとに示されている避難方法と認識している。

市としては、地域防災計画(原子力災害対策編)、住民避難行動計画に沿って、適切な防護措置を講じた上で、住民の皆様の円滑な避難を勧めていく。



伊方発電所

きかせて！あなたの夢



西予市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



かわうち しょうま
川内 翔真さん（城川小学校6年）

ぼくの夢は、料理人になることです。ぼくが初めて作った料理は、卵焼きです。1年生のとき、おばあちゃんに教えてもらいながら作りました。ちょっとだけこげてしまったけど、家族みんなが「おいしい。」と言ってくれました。そのとき、「喜んでもらってうれしいな。料理って、楽しいな。」と思ったのがきっかけです。今ではチャーハンや豚肉のしょうが焼きなど、いろいろな料理が作れるようになりました。だから、少し夢に近づいているのかなと思います。将来は、中華の料理人を目指しています。そして、中華と和食を組み合わせた、創作料理も作ってみたいです。おいしい料理は、人を幸せにします。料理人になっておいしい料理を作り、たくさんの人を幸せにしたいです。

議会レポート

令和3年度 議員勉強会

8月23日、議員全員協議会室において「西予市の財政」をテーマに勉強会を行いました。

講師は財政課職員がおこない、資料に基づき約1時間説明を受け、その後質疑を行いました。最初に財政収支の事情について、令和3年度の一般会計当初予算、305億円を月30万円の生活費に換算した家計簿モデルを作成した資料から説明を受け、続いて財政健全化について多くの資料をもとに説明を受けました。

人口減少や少子高齢化等、我が国が抱える構造的な課題、さらに西予市は平成30年7月豪雨災害を受け、厳しい財政が続くことが示されました。



編集後記

三瓶町4Hクラブ(若手農業後継者グループ)との意見交換会を行いました。農業で頑張っている人達を応援したいなと思います。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症対策をやっていかねばなりません。一日も早く、新型コロナウイルス感染症が収束して、行動制限のない日常生活が戻ってくることを願っています。

小玉 忠重

◎編集委員
委員長
副委員長
委員

河野清一
中村雅一
和氣徹也
信宮俊文
宇都宮重
小玉正樹
源正樹

